

平成29年度第2回砺波市総合教育会議 概要報告

- 1 開催日時 平成30年2月20日（火）午前10時30分～11時45分
- 2 開催場所 砺波市役所3階小ホール
- 3 出席者 夏野市長、山本教育長、小櫻教育長職務代理者、齋藤教育委員、林教育委員、信田教育委員、
- 4 出席職員 今井企画総務部長、三部教育委員会事務局長、田嶋教育委員会事務局次長、坪田企画調整課長、横山こども課長、森田生涯学習・スポーツ課長、小西砺波図書館長、河合企画調整課主幹、中田教育総務課主幹
- 5 傍聴人 なし
- 6 議 事
 - (1) 平成30年度当初予算案の概要について
 - (2) 平成30年度当初予算案（教育委員会）の概要について
 - (3) 学校教育関係の事務事業の進捗状況について
 - (4) 教育の条件整備など重点的に講ずべき施策について

7 会議の概要

(1) 開会あいさつ

市 長 平成30年度の教育費予算は新砺波体育センターや新図書館の整備で圧倒的に伸びた。小学校普通教室の冷房化は、新年度の予算に組み込めなかったが、今後の動向をみて進めていきたい。

教 育 長 2月6日に大雪のため小中学校は臨時休校の措置を取らせていたただいた。また、今年はインフルエンザによる学級閉鎖は多くなかった。平成30年度当初予算の説明を受けながら、委員の皆さんから意見を賜りたい。

(2) 平成30年度当初予算案の概要について

市 長 新年度予算は積極的な予算であり、第2次砺波市総合計画の2年目にあたることから、将来に向けてのステップアップとなる諸施策を確実に進める予算としている。

(3) 平成30年度当初予算案（教育委員会）の概要について

事 務 局 ハード事業が目白押しであり、もう一つ上の砺波を目指していく予算である。

(4) 学校教育関係の事務事業の進捗状況について

事 務 局 特別支援担当指導主事の設置、校務用・教育用コンピュータの更新、小規模校連携事業等について、新年度も継続的に進めていきたい。

(5) 教育の条件整備など重点的に講ずべき施策について

教 育 委 員 小規模校連携事業は4回とも同じ形を採らなかったのが児童の学習意

欲に繋がった。民具の活用の面で広がりを感じさせてもらった。

教育長 学校の連携については、予算を使わなくても作品を交流するなど他の方法もあると思っており、今後も続けていきたい。

市長 民具については、貸出できるものもあり周知していきたい。

教育委員 小学校普通教室の冷房化については、難しい面もあろうかと思うが、整備できるようにお願いしたい。学習支援員の配置が行き届いているおかげで、支援が必要な児童が以前と比べ目立たなくなってきた。対外的な行事の削減や見直しと校務支援ソフトの導入により教職員の教材研究の時間を作ってほしい。

市長 小学校普通教室の冷房化については、国の補助金が付けば順次対応していきたい。また、新年度で校務支援ソフトは機能の追加を予定している。

事務局 学習支援員を全小学校8校、スタディメイトを全小学校に14名、心の教室相談員を全中学校4校と小学校は6校に配置している。

教育委員 学習支援員の各学校への対応や新年度でALTを実質1.5人の増員していただき、感謝している。

教育委員 就学前の入学準備金の対応について、感謝している。先日の大雪による休校について、小学校は学校からのメールにより早期に連絡が伝わったが、中学校からの連絡は遅かった。市のホームページによるお知らせは大変良かった。

事務局 就学前の入学準備金の対応について、市広報や半日入学の際にお知らせしている。

市長 連絡網でタイムラグが出ていると思われるが、市のホームページは最初は分かり難かったので、バスの運行状況や休校等の情報は直ぐに見れるようにした。

教育長 小中学校には、前日に雪の状況によっては休校にするという事前連絡をして、当日の朝5時に判断して、休校する場合は6時に市のホームページに掲載する形を取った。台風の際にも同様に掲載していくことを教育委員会でも考えていきたい。

市長 市のホームページ以外でもラジオ等いろいろなチャンネルから情報提供していきたい。

教育長 行事の削減について、今年の消防出初め式で少年消防クラブの参加校を半分に減らしたこともあり、地域とできるところをお互いに折り合いを見つけることが必要である。

教育委員 学校司書の研修会は本と子どもの結びつき等色々なことの意見交換をして、すごく活気があって良かった。また、子どもにとって図書館はほっとするところ、静かな安らぎがあるところである。

事務局 新図書館は、賑わいのグラデーションとして一番奥の部屋がサイレントルームになっている。図書館と学校司書との連携について、新図書館の事務所内に学校図書館の本棚や学校司書と随時交流できるスペー

スを設置していきたいと考えている。

(6) 閉会あいさつ

市長 新年度の予算執行にあたっては、常にこれからも現場の声を聞きながら、限りある予算の中で創意工夫と知恵を出して進めていきたい。

事務局 今後の開催について、例年であれば10月と2月の2回の開催を予定しているが、その他に教育や子育ての課題があり、皆さんのご意見を聞く機会があるかもしれないので、その際にはよろしく願いしたい。